

DRAMATIC ADULT COMIC

MOMOR

マザー



RIROLAND

DRAMATIC ADULT COMIC

MOJER

マザー

RIROLAND PRESENTS



DRAMATIC ADULT COMIC

MOJER

マザー

RIROLAND PRESENTS



珍しいなあ
ちよつと
見てみよう



へえ
『MAJOR』の
同人誌か

前書き

どうもこんにちは、RIROLANDの里見です。実はしばらく同人誌出すのを休んでたのですが、今回久しぶりに新刊発行ですよ！ネタはなんと『MAJOR』！10年前から出したかったネタですが…直接のきっかけはアニメ化です。（←それにしては遅！）アニメの桃子先生があまりにも色っぽすぎて…ってヒロインの清水じゃねーのかよ！いや清水さんもとても可愛いです。

てかあんな感動的なマンガ見てこんなえろーすな事ばかり考えてしまって…本当すみません。好きなものほど汚したい…嗚呼ダメな大人になってしまった…。親の背中を見て育たなかったのか（笑）

何か久しぶりにエロマンガを描いたら…加減が分からなくてやたらと濃厚なモノになってしまった気がします…（何たって桃子先生だしね！）楽しんで頂ければ嬉しいです。それではまた後書きで。

CONTENTS

- 04 オープニング 空鶴
- 07 『MOTHER』 空鶴
- 39 『清水にハラスメント』 里見ひろゆき
- 63 『MOTHER ANOTHER』
- 72 まんが対談 空鶴・ひろゆきの言いたい放題

表紙・空鶴 裏表紙・里見ひろゆき



キレイだよ

かーさん…



ありがとう
吾郎…

ん…

-MOTHER-



Kuuya
空鶴



ほ、本田…
大丈夫
なのか？

ん？
…何が？

家の人とか
帰ってきたり
しない？

カクッ
カクッ



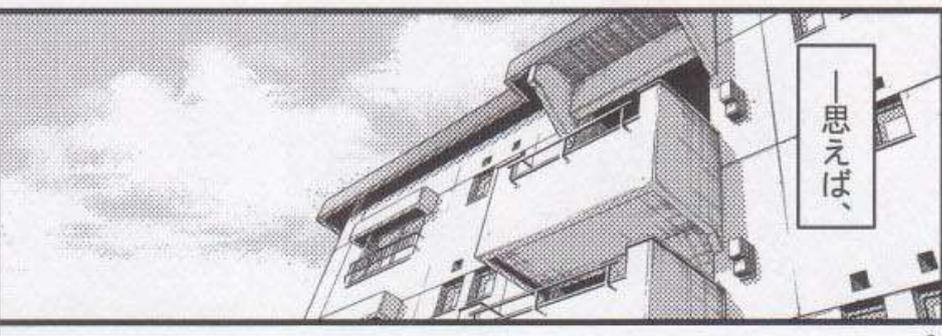
へへっ

かーさんは
まだ仕事で
帰ってこねーし…
大丈夫だって！

ちゅふ
ちゅ
びゅ

はあ
はあ
はあ

私達の
本当の生活は
この日から
始まったので



— 思えば —

そんじや責任取つて
今日はいっぱい
イカしてやるよ!

ハハッ
しゃーねエなあ

……
そごだつけっ

本田くん?



はあああ!!

あ



やっ

……あり?
もしかして
入れただけで
イッたのか?

あ

やっぱ清水は
素質十分だなっ

んぐ



……!!



あぁっ

気持ち…
イイよお

ずぬ

ぐんぐん



ほ…
本田のせいで
…あっ

あ
あ

あたし
とんとんHに
なっちゃうよお

あ
あ

あ
あ



本田…
ほん…だっ

コシが
止まんないっ

…ダメダメ
あたし…やっ

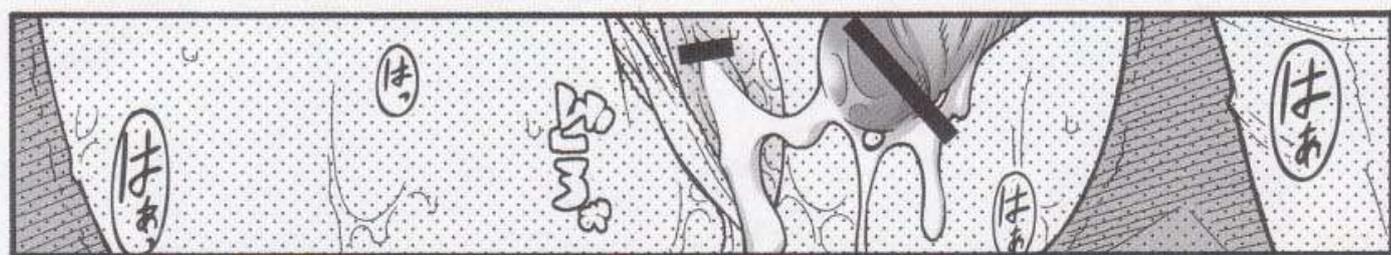
ズ
ズ

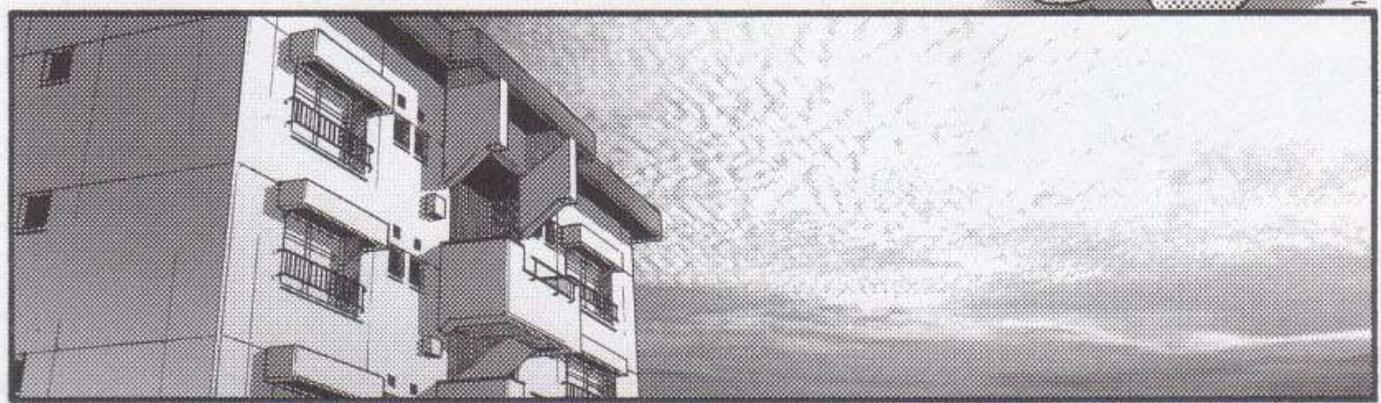
ズ
ズ

ズ
ズ

グ
グ

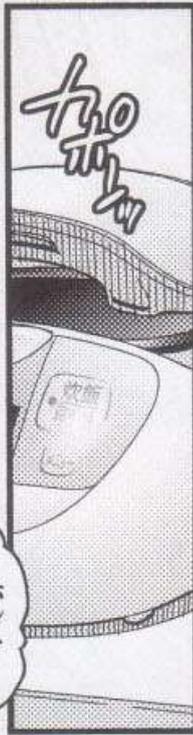
いやあ







ホントは
あいつは
カニだな
カニ!



沢村のやつ
また横歩き
だぜー

でさー

あ、
おかわり



ーとかは
どう最近?

野球上手に
なったっ



…清水さん

へ?



だめよ
そんな事
言っちゃあ!

清水さんは
女の子…
なんだから!

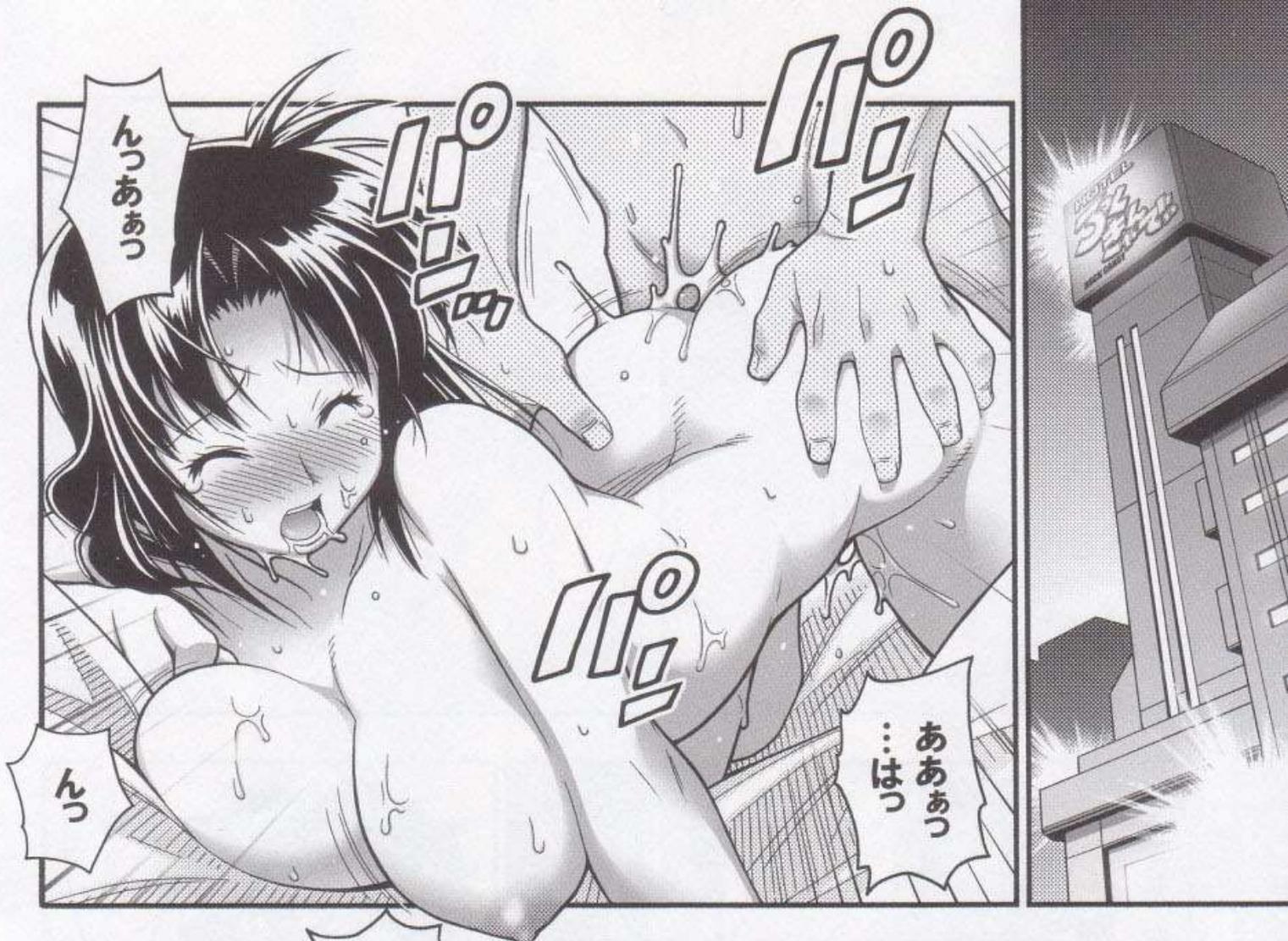


だーめ!
あいつ全然
才能ねーん
だもん

いまだに
フライ取れ
ねーんだぜ!

ど、どっ!

2回に1回は
落とすな





どうして…
私、いつも以上に
興奮してる…!!
感じてる!!

吾郎の
あんな姿を
見てしまった
所為…!?



でも…
でもダメ…

これじゃ
まだ満足
できない…!



私、
吾郎の事
考えてる…

もう吾郎の
オチンチンの事しか
考えられない…!!

桃子先生
締め付け
過ぎだ!

も、もう
出ちまう!

出して下さい
茂野さんっ!

だめ…
ダメよ桃子…

私を
汚してエ!







吾郎!?



…ア



どうだった…?

俺のSEXは



かーさん!!

きやつ



な、何!?
ちよつと
吾郎…!!

やめなさい!!

嫌だ!!

ひゃっ



違うわ
誤解よ吾郎…

こ、これはね…



俺、知ってるん
だからね!あの時
清水とのSEX
覗いてたって!!

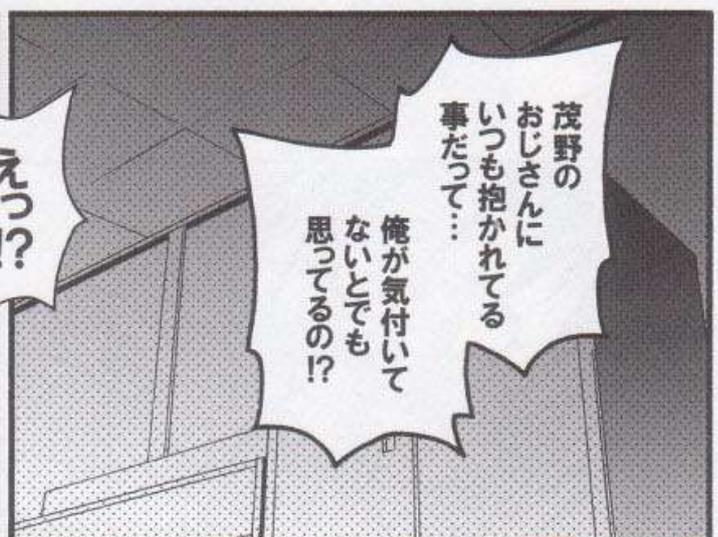
バタバタ

それでガマン
できなくなつて
オナニーして
たんだろ!!

…ちがつ



えっ!?



茂野の
おじさんに
いつも抱かれてる
事だつて…

俺が気付いて
ないけども
思ってるの!?



…こ、吾郎
いけないわ!

こんな事は
ダメ…
私達は母子
なのよ!

そんなの
形だけだろ!?
血の繋がりは
ないじゃないか!!
それに
俺はずっと

こ、吾郎!?

ずっとかーさんを
俺だけのモノに
したかったんだ!!



えっ!?

かーさん!!





いやっ…
ダメよ
吾郎…!

やめてっ
…これ以上は
いけないわっ!

もうオチンチン
出し入れ
しないでエツ!!



ひんっ
…んっ

ち…ちがっ

本当はもっと
エグッて欲しい
んだろっ…!!

だめエ



ウンだ!こんなに
ぐちよぐちよにして
俺のチンポ
啜えてるくせに…

あっ



そんな事
ないわっ

いやっ
そんな…





こ…
吾郎おっ

あつ…！
吾郎…深あいつ
ひあつ…！



えっ!?

このまま…
かーさんの膣内
に…!!

かーさん…
もう…
もう出ちゃうー!

ズズツ



いせっ…

吾郎
だめエエー!!

イヤだ!
かーさんの膣内
に出すんだ!!



だめ!
だめよ吾郎
…!!

それだけは
ダメツ!!



んあ...ああ...



こ...これ
なんだわ...

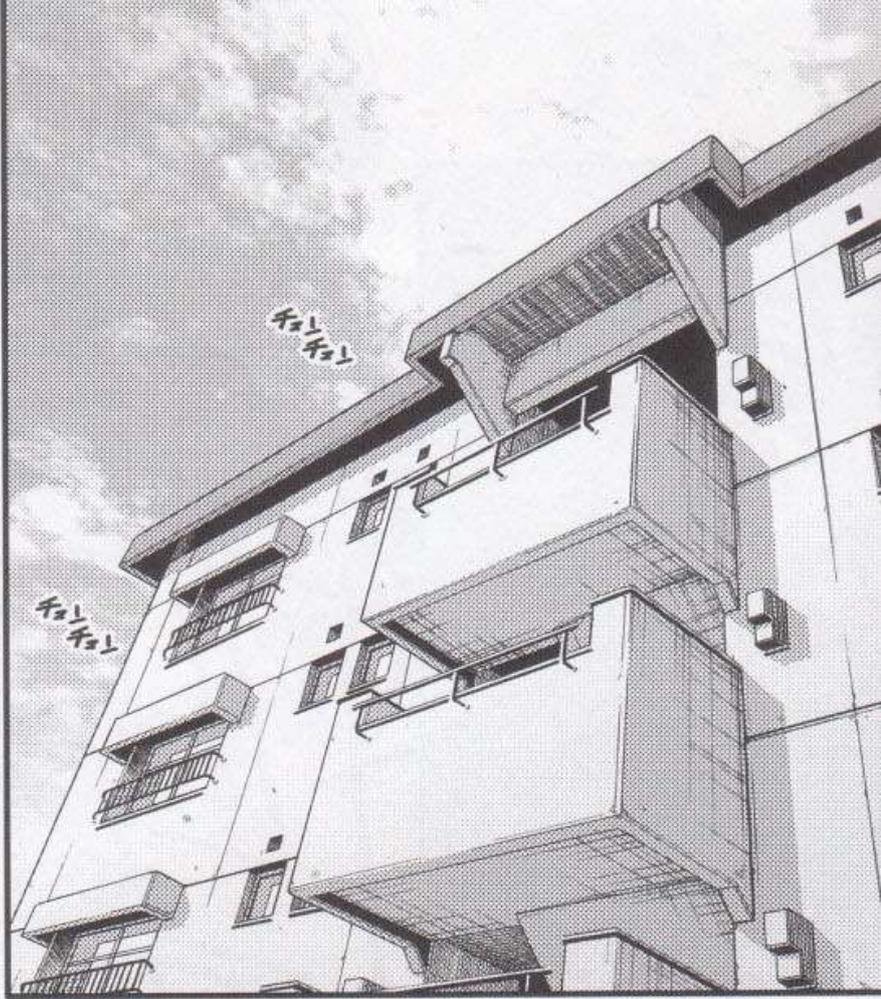
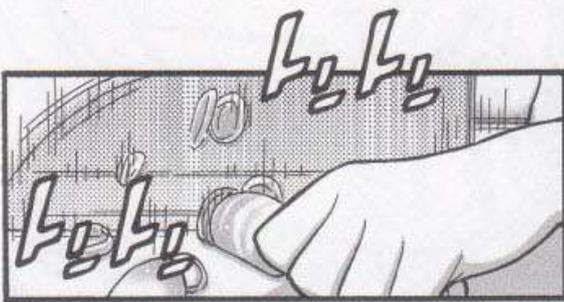
気持ち
...イイ



身体の
奥底まで...
染み込んで
いく感覚...

私...
本当は望んで
いたんだわ...

子供にこうして
犯される事を...





なんだよ
かーさん！

昨日は俺のチンポ
突っ込まれて…
あんなに悦んで
たのにさあ

それに今だつて
こんなに濡らして…
本当は俺のチンポ
待つてたんだろ？

い…いやっ



だめよ！

だめだめだめ

…だめっ

ご、吾郎

くちゅ



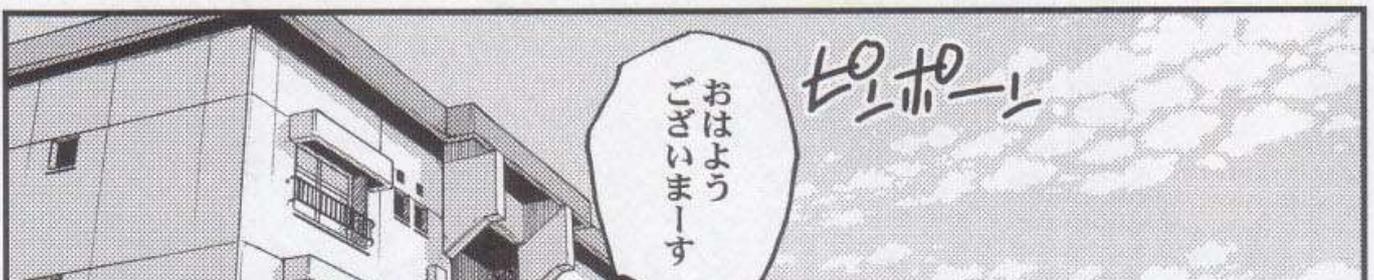
は

はあああ

—この時…
私の中で
何かが弾け…

私達母子おやこの関係は
以前のそれには
もう戻れなくなつて
しまつていたのです
…







かーさん今度は
この服を着て
やろうよ

ホラ
今さら恥ずかし
がらなくても
いいじゃん

かーさんの
身体は…
もう全部知って
るんだから

今日は朝まで
かーさんを
犯し続けて
やるよ

口もあそこも
お尻の穴も…
オレの精液で
溢れさせる

四つん這いに
なつて…
お尻を高く上げて

かーさんのヨコ…
オレがさわる前から
グチヨグチヨは
なつてる

白くて大きな
お尻…
すげーエッチだ

おっぱい…
もつといじめて
欲しい?

今度はどこか
外で…
かーさんの身体
味わってみたいな

誰かに見られながら
するのも…
好きなんですよ?

かーさんの身体…
射精すればするほど
勃起しちゃうよ

かーさん

かーさん
……



ー
リリリ



かーさん…

キレイだよ



ありがとう
吾郎…

ん…



でね!





…かーさん



か
あ
あ

お願い！
今ここで
私の身体を…

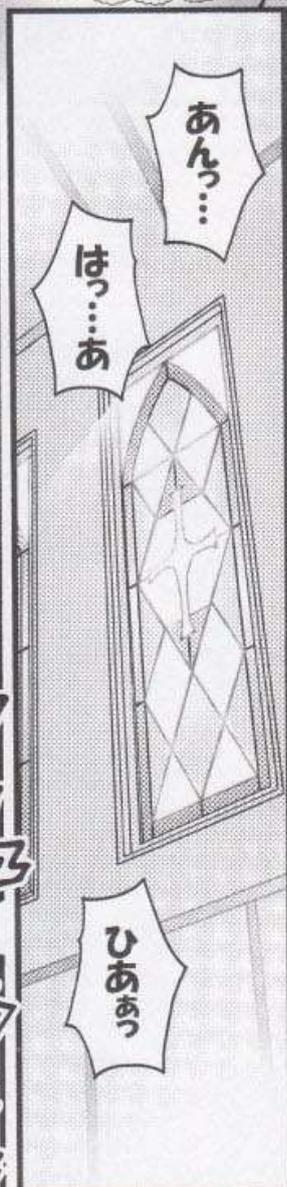
思い切り…
犯して
欲しいの！



吾郎あ！

うん…あ

かーさん！
やっぱり
かーさんの膣内
は最高だ！



あん…

は…あ

ひび



渡さないよ！

かーさんが
茂野の
おじさんと
結婚しても…

かーさんの
身体は俺だけの
モノだ！！



36



-END-

●作品解説●



お久しぶりの登場でヤンスね～！
空鷲でございやす。いや～ん。

MAJOR本漫画、やっとこ終わりました(泣)久しぶりってのと『ずっと前から好きだった』事が重なって、ペースが全くつかめず、時間が掛かりまくり…。長かったなあ。

そういえば『人妻』ってのも初めての試みです。自分での感想としては、一言……難しい!!!!(泣)
桃子先生への思い入れが強すぎたのかもしれないねえ。

描きやすく好きな絵はいわゆる『ロリ』なんですけど、エロいのは『人妻』な気がする今日この頃です。単純におっさんになったって事?(笑)でも絵も話もとにかく難しいんで僕には向いてないんじゃないかなあ…。情けな～い…。
なので今回の空鷲漫画、話の半分以上は里見っちに作ってもらいました。

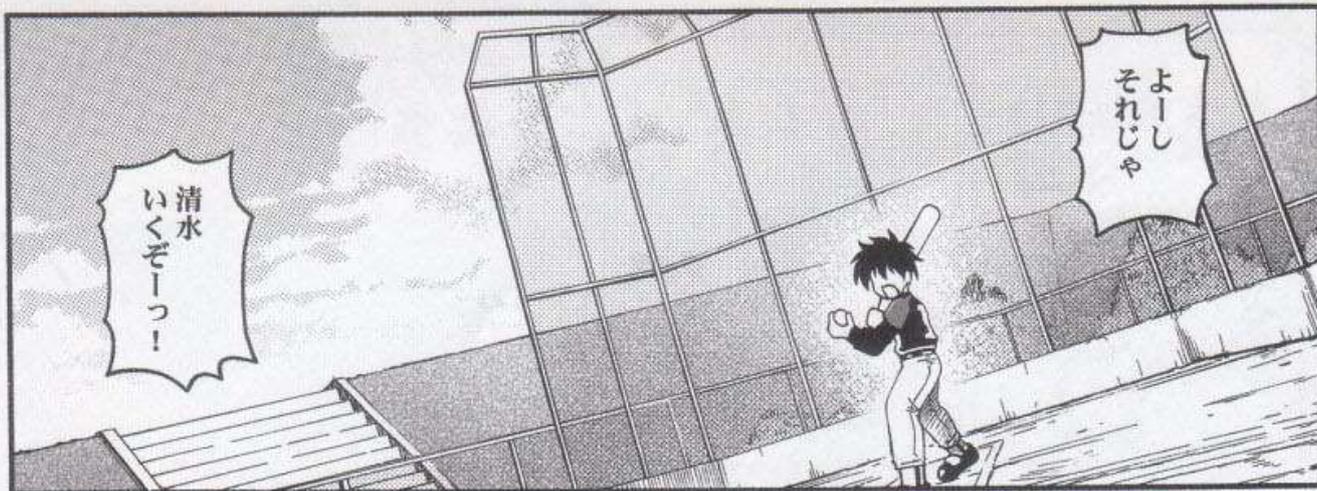
でもなあ…。難しいけどもっと描きたい気もするアンピバレンツ!(笑)
特に清水は描き足りな～い!おう!

←こちらはやっとの事で吾郎君とお付き合いを始めた大学生『清水薫』さんです。単行本最新刊の清水さんはスゴイデスネ!…エロス!!

それではまた～!



同時発行してる(ハズ...)のふたご姫本。
 いろいろらんど！いろいろらんど！フローミネンス！
 お願い！しめきりをあと2日…いや1日でもいいから伸ばして！！



清水
いくぞーっ！

よし
それじゃ

清水に ハラスタント

里見ひろゆき



よし来い
本田あ！



張り切ってるね
清水さん

まーあいつの
特別特訓
だからな

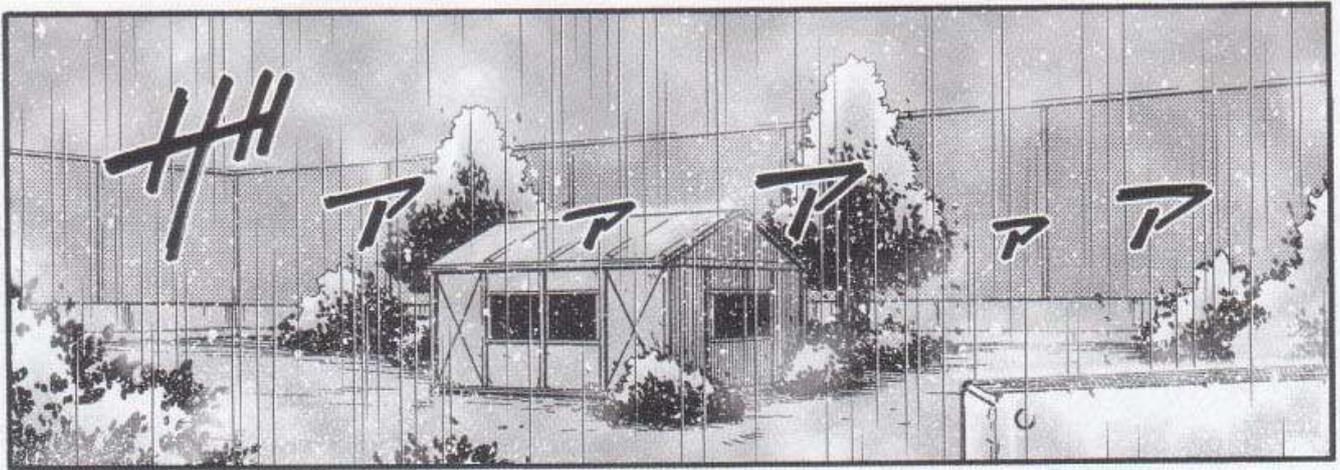
外野フライくらい
早く取れるように
なって欲しいぜ





来た、
来た！







こんなに
ドキドキ
して...?

ドンキ

何で
清水なんか
に

あ...あれ
おかしいぞ



ち、ち、ち、
バカ！よ

ははーん
何かスケベな事
考えてたな？

なんだよ本田
あたしの方見て
赤くなつて



バツカ
いいじゃ
ねーか
おいおい
本田！

沢村くん
まずいよお

うお！
だだ誰が
おめーみてーな
ジャジャ馬の...
見てみろよ
小森！

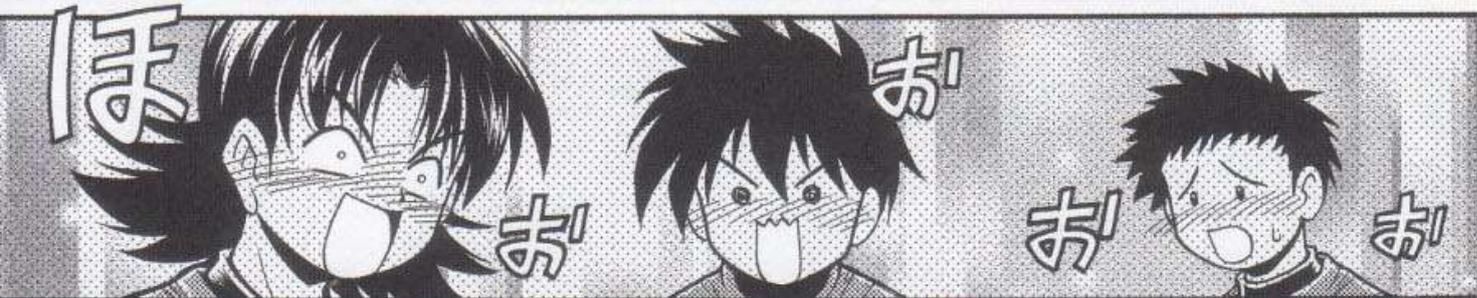
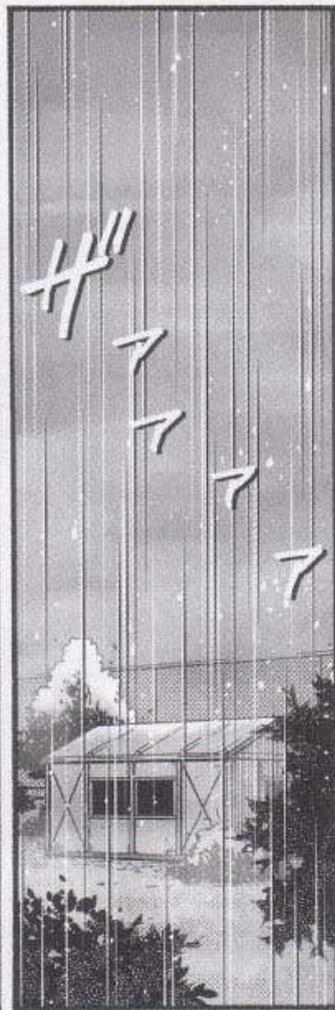


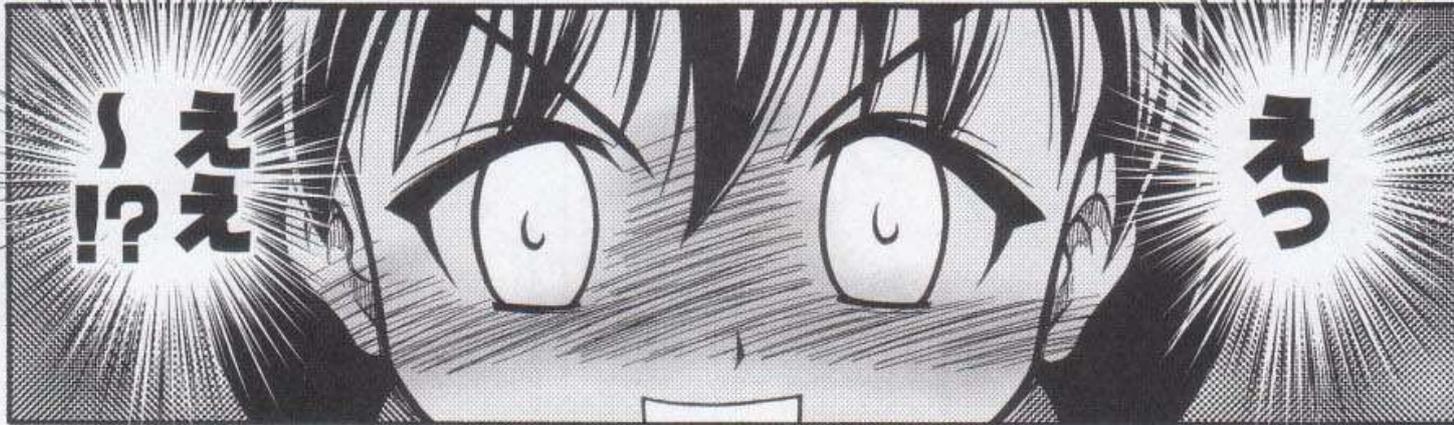
!!

はたけ
初島
20歳の
19

じゃあ
あん！







う

お

お

お

お

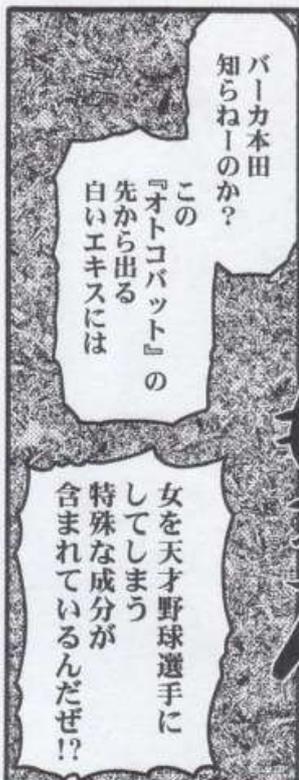


恥ずかしい！

は

あたしの大事な所！みんなに見られてる！

見られてる！



バーカ本田 知らねーのか？

この『オトコバット』の先から出る白いエキスには

女を天才野球選手にしてしまう特殊な成分が含まれているんだぜ！



ち、ちんこ！

もろん



クソー！もうガマン出来ねー

本田！オレも練習に参加するぜ！

え！



啜え込んだら
咽喉の奥で
良く味わって...



そう...
鈴口は舌の先で
軽くつつく様に...



さつすが
委員長

学習能力
高いぜ！

ん

ん



野球の
エキスの
味……

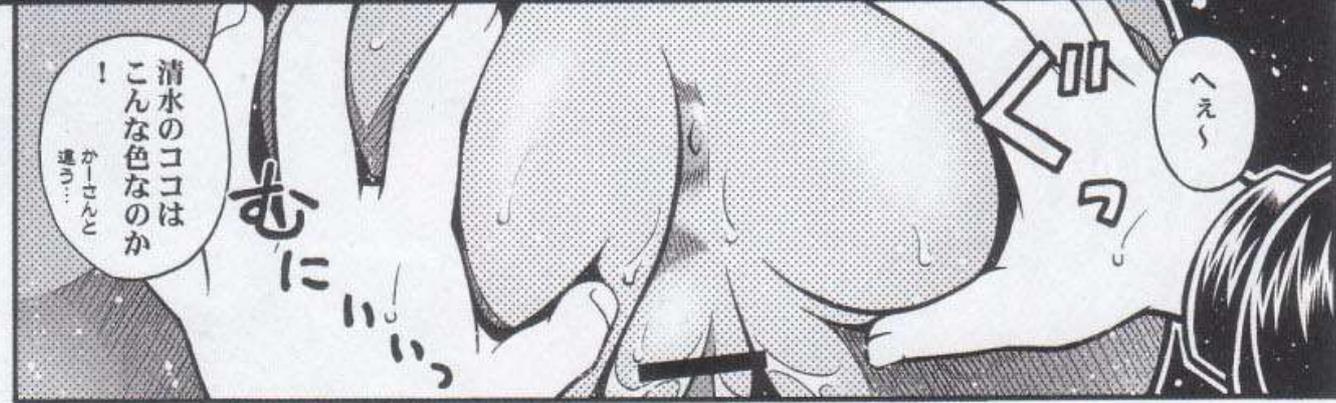
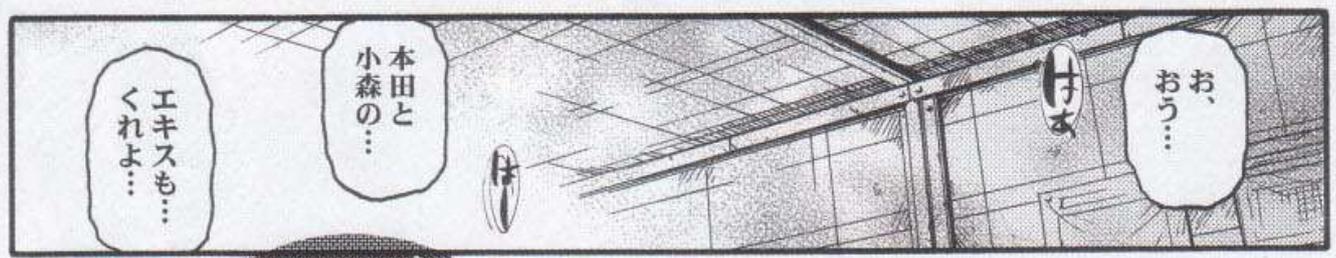
こ…
これが…

ん



ほ、
本田…







舌を… 入れるなあつ





腰の奥が...
甘く痺れて...

とろとろ
とろとろ

もも
何も

ズッ
ガッ

ズッ
ガッ

考えられ
ない...



ぷるん

はま

はま



清水さあん...

し...

はま



ケッ

はま

はま



お子様用の
ミニバット…

はむ

はも

はああ
小森のは



はむ

か

はも



ん

か

ん



全部
ちようだいっ

あたしの中に

出してっ
みんなの
エキス…



清水っ

オレのエキスも…
中に…出るっ



あ…

はあ…っ

清水さん…

もう…
出ちやうよ…



へへっ
やらしいなあ
清水は

キゅきゅ

ゴリ

乳首こんなに…
シコらせて…

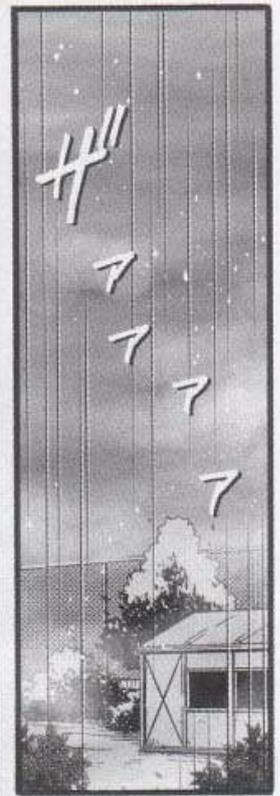


沢村の
バットも

あたしの
お腹の中

くりくり
してるうっ

クワッ





エキス…もつと
ちようだあい

はああ…

れ
お



ぼぼ
か

これは
お前らの

エキスが…
効いてきたから…

け
ま



このエキスの
量は多いん
だぜ？

知ってるか？
一流のプロ野球
選手ほど

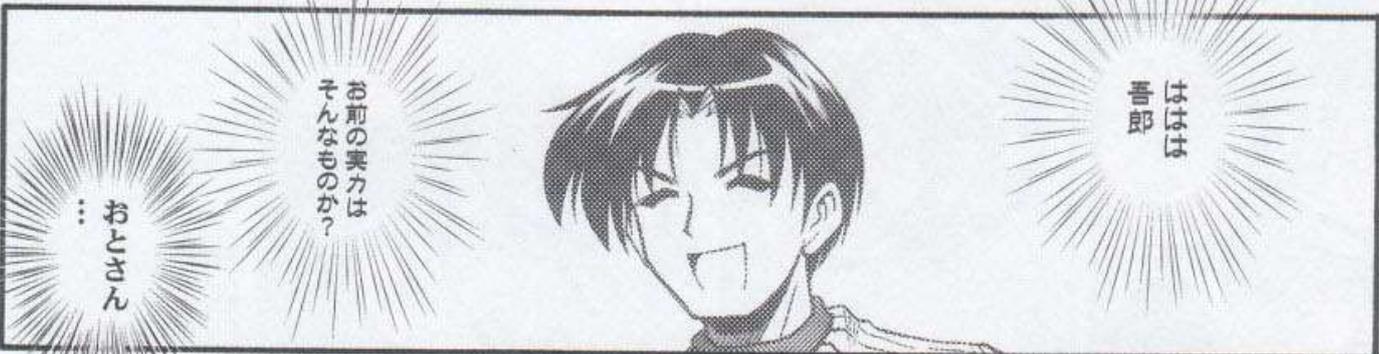
何



何だ本田は
もうギブアップ
か？

へへっ
だらしねえ
なあ

う、
うるせー



は
は
は
奇
郎

お前の力は
そんなものか？

おとさん



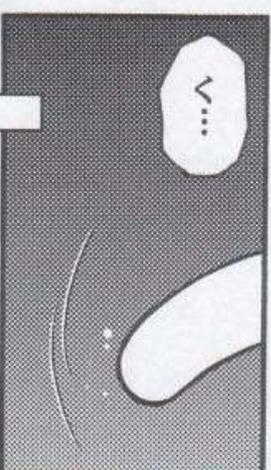
え
!?



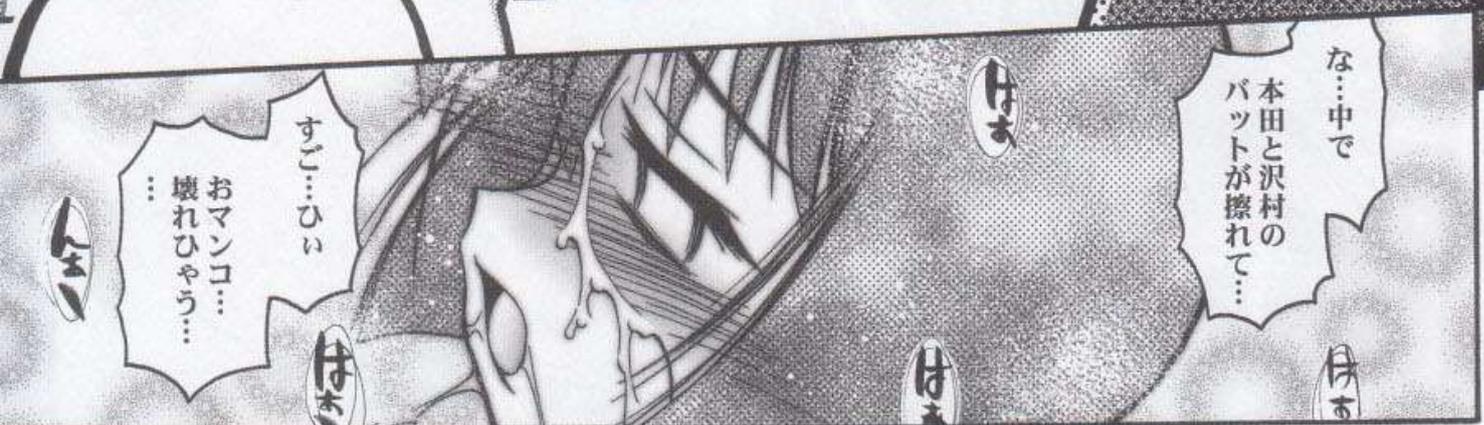
完成!

く
ん
な
な

奇跡の
サイロチンコ!!



く
…





それから
ボクたちは
何度も何度も

うあ
清水のこの
回やあ
お尻の穴の中に



白い。
エキスを

注ぎ込んだ
んだ

ふあ



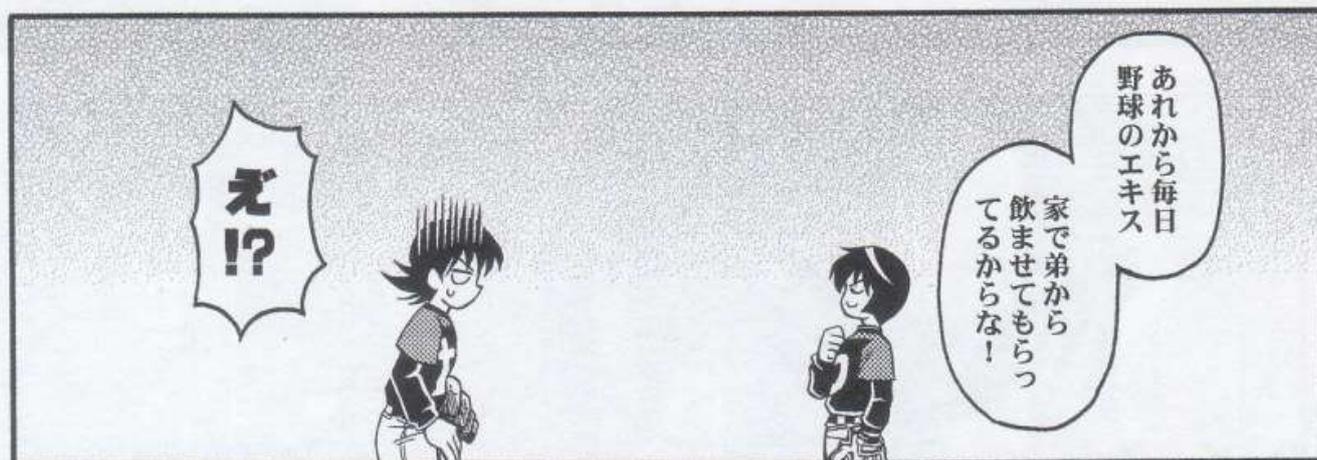
ボクも...
出ちゃう...

オレもっ

し、
清水つ
また...
出さぞ...

そして...





「先生…

清水さんのエロが描きたいです…」

ども一里見です。今回念願の！『MAJOR』本が出せた訳ですが…実はおいら過去の同人誌で清水さんを何枚か描いてたんですねー。久しぶりに見返すと結構面白かったり。（主に自分が）

そんな訳で『里見の昔描いた清水さんのコオナー〜』！ 完全自己満足の企画（笑）



← まずは一番最近の清水さん。と言っても7年も前のけど（笑）中身はエロ無し4ページのギャグ。
一応当時流行っていた『守って守護月天！』メインの本に載せたものだったのでこんなハナシになってはいますが…改めて見返しても意味がサッパリ分からないマンガ…。



→ お約束の服ビリビリ。
7年間進歩無えーなー！

← 同誌裏表紙。清水をカラーで描きたくてムリヤリこんな裏表紙に。空鶴に『誰この子？』と言われる（笑）

当時パソコンを買ったばかりでCGの描き方が全く分からず…コレ表紙なのにペン入れすらしていません…。



さらに遡って8年前の清水さん。97年の冬コミで出した『CCさくら』&『大運動会(笑)』本で描いたカット。

このちょっと前まで「小学生清水」≧「中学生清水」だったんですが…コミックス16巻の清水と吾郎が和解するハナシ読んで…「中学生清水」≫「小学生清水」ってなったんですよ(笑)確かそのイキオイで描いたんじゃないかなかったかコレ?

うーん…しかし結局今回も「中学生清水」は描けなかった訳だからなあ…いつかはチャレンジしたいなあ…。

それにしてもこの清水さん、えらい痩せっぽちですね(笑)



『MAJOR』のヒロイン清水さん。117かは彼女の2コマも描きたいですよ。

第2位

『MAJOR』

やはり発表の第2位はサンデーで大人気連載中(だと思ふ)の『MAJOR』。大部分の人は意外に思うだろうけれど正直今一番燃えている漫画がコレなんだ。コミックスを追いかけているから最新のネタとかはちよと分かんないけどイ4オ3はやっぱり清水でしょう。いや桐原先生も好きですけど(笑)。考えてみると野球の漫画と買。死のて初めてなんだよなー。117プロ野球とか全然興味ないし。でもそんな俺でも燃えて

見れるごう面白い作品です。あとストーリーだけでなく演出もすごく丁寧につくられていて何回読んでも飽きない。今これだけのクオリティを保っている漫画はちよと見つからないよ。まだ読んだこと無い人は本屋へダッシュ!!



吾郎はともかく清水似すぎ。ちよと知3&します…

← キキキターー！95年の夏コミだから…ちょうど10年前の清水さんですね。まだ空鶴とも知り合う前ですよ！ウチがまだ健全アニパロサークルだった頃ですよ！

これは確か『決定！里見の今のお気に入りベスト5』みたいな企画ページで…『MAJOR』が2位だったんですねえ。まだ清水の髪が長かった頃？

ちなみにその企画、1位は当時やっていたTVアニメ『飛べ！イサミ』。(懐～) いやまさか…10年後に同じ局同じ曜日同じ時間帯で『MAJOR』もアニメ化するとは…。

絵の下手さとトークのサブさはホント、勘弁してください…。

MOTHER ANOTHER

「吾郎………本当にここで……するの？」

桃子は消え入りそうな声で聞きながら、息子の吾郎の顔を見た。

「ああもちろん！ そのために……その格好に着替えてもらったんだからさあ」

吾郎がうつすらと笑みを浮かべながら、ぴっちり張り詰めた布をまとった母親の様子を見ている。まだ二十台だとはいえ……さすがに子供用のユニフォームでは、その豊かな肉体を完全に覆い隠す事は出来ないようだった。

大きな胸からくびれたウエスト……そしてなだらかに続く尻から太ももへのライン。サイズの小さな服を無理やり身につけているため、官能的なラインがよりくつきりと浮かび上がっている。

「やっぱりかーさんのその格好はすっげーエロいよ。オレいつかここで……その格好のかーさんを思いつきり犯したかったんだ」

周りを見回す吾郎。

そこは……毎週吾郎や小森が野球の練習に使用している、三船ドルフィンズのグラウンドだった。

きっかけは些細な事だった。桃子は偶然見てしまったのだ。

吾郎が……チームメイトの清水薫を抱いている現場を。その身体の動きは、二人の関係が昨日今日に始まったものでは無い事を雄弁にも語っていた。義理とはいえ……幼児の頃から可愛がっていた吾郎の、激しいセックス。確かにショックだったが……それ以上に甘美な誘惑が桃子の身体を買いた。

吾郎に……犯されたい…

だからこそその後、吾郎に迫られた時も……あっさりと身体を許してしまったのだ。そしてその夜から……桃子は吾郎の母親から吾郎の性交用奴隷となった。茂野という結婚を約束した男までありながら……夜な夜な息子の為に身体を開く。

桃子は背徳感と共にこの禁忌の果実の甘さに、身体の奥まで蕩かされていた。

「でも吾郎……こんな場所じゃ……いつ誰が来るか…」

「大丈夫だよかーさん。もう8時過ぎだぜ？ こんな時間にこんなトコに来るヤツなんて、だーれもいないって！」

「でも…ムムウツ……」

後ろから回された手で羽交い絞めにされ、唇を奪われる。滑らかな歯並びに沿って、吾郎の舌が左右に動く。そしてその間も桃子の豊かな胸を、吾郎の手がゆっくりと揉みしだく。

「あ…あふあああ…」

堪らず声をあげる桃子。その瞬間開かれた前歯をぐぐり抜け、吾郎の舌が桃子の口腔内を蹂躪する。おずおずと……やがて積極的に応える桃子の舌。いつしか2人とも激しくお互いの舌を舐め合い……相手の全てを吸い尽くそうとしていた。

甘い吐息と蜜のような唾液をたつぷりととすすり、吾郎はようやく口を離れた。前戯というにはあまりに長く、激しすぎるキス。吾郎も桃子も……この屋外でのプレイという事で、いつに無く昂ぶっていた。

「かーさん…オレもうこんなになっちゃった…」

吾郎が桃子の前にペニスをさらけ出す。子供のものとは思えぬ大きさのそれは、赤黒い龍のように屹立していた。

「…吾郎…」



ピチャツと音を立て唇を開く桃子。そしてぬるりと息子のペニスを呑み込む。もう何度も啞えた吾郎のペニスだが…今日は一段と硬く、そして熱かった。その熱さに桃子は…自分自身の身体の火照りをも感じていた。

幹の裏を舐め取り、根元を甘噛みする。吾郎の好きなポイントだ。激しく前後に吸い付いた後、咽喉の奥の粘膜で亀頭に刺激を与える。桃子の得意なプレイだ。上気した頬が惱ましく前後する。母親のグミキャンディのような柔らかい唇に包まれて、吾郎のテンションも最大限に高まってきた。

「か…かーさん…！」

桃子の口の中に勢い良く吾郎のマグマが噴出した。桃子は驚く様子も無く、吾郎のペニスを啞えつづけている。驚くほど大量の白濁液が桃子の口の中に吐き出されたが、桃子はゆつくりとその味と感触を味わうと…美味しそうに嚥下した。

「吾郎…今日の精液いつもよりずっと多いわ。味も大分…濃いみたい…」

口内に残った精液の味を確かめるように舌を転がしながら、桃子は微笑んだ。紅潮した頬がなんとも艶っぽい。

「へへっ…言ったら？…ここでその格好のかーさんを犯したかったんだって！」

早くも回復したペニスを構え、吾郎は母に向かって突進していった。もうお互いここが野外であるという危惧は無い。あるのは母親の熟れた肉体と…息子の熱い肉棒だけだ。誰かに見られるかも知れぬという不安も…今は快楽という炎に注ぐ燃料となっていた。

びっちりした服の下に手を入れ、桃子の乳房を揉み上げる吾

郎。幼児の頃、一緒に風呂に入った記憶がおぼろげにあるが…その頃はこの乳房がこれ程までに魅力的な肉感を持っているとは考えもしなかった。手のひらに吸い付くきめの細かい肌。そしてその二つの肉球はまるでつきたての餅のように柔らかく…温かかった。テンションが急速に高まっていく。

勢いに任せ…乳首を摘み上げる吾郎。

「ひゃうっ…！」

切れ切れの吐息を漏らしていた桃子の身体が、ピクンと跳ね上がった。乳首は桃子のウイークポイントだ。うなじに浮かぶ汗の滴を舐め取り、吾郎はそのまま桃子の唇を吸う。再び唾液の交換。先ほど口内に出した精液の味はもうせず…うっとりするような桃子の甘い味と匂いしかなかった。

延々と乳房と乳首を責める吾郎。桃子の吐息がだんだん荒くなってくる。

「ふあ…吾郎…ごろお…」

遂に桃子が両脚を吾郎の身体に絡み付けてきた。一回射精して落ち着いてる吾郎と違い…桃子はまだ一度も達していないのだ。それどころか…まだ性器に触られてさえもない。

「フフ…相変わらぬいやらしいなあかーさんは…。そんなに…オレのチンポが欲しいのかい？」

「はあ…はあ…そんな意地悪…言わないで…」

「だったら言つてよ。ほら…この前教えたよね？」

「え…こんな場所…あんなことを…？」

「言えないの？この前は言えたじゃん」

「でもあの時は…いッ…家の中だッ…だから…」

会話を続けながらも吾郎の責めは続いている。もう吾郎自身



も限界ギリギリまで昂ぶっているのだが……今はこらえる時だといふのも分かってる。それにより……息子に責められ悶え狂っている桃子の表情が……吾郎はとても好きだった。

「はあ……はあ……わ……私は……息子のチンポが欲しくて欲しくて……おねだりを……クツ……繰り返す……みツ……淫らな……母親で……す……」

腰をガクガク震わせながら桃子は言った。息が荒い。「んーいけいけと声が小さいなあ。せつかく外なんだから……もつと大きい声で言つてよ。誰かに……聞こえるようにさあ」

その時河原のほうから足音が聞こえた。タツタツタツ……規則正しい足音。こちらに近づいてくる。桃子も吾郎も息を殺し、ベンチの裏側に隠れた。光源の向きでこちらは河原からは見えないが……大きな音を出すと聞こえてしまうかもしれない。さつき以上に桃子と密着した吾郎はニヤリと笑うと……後ろから桃子の耳を口に啜えた。

「ひゃうんっ！」

不意を突かれ甘い声を出してしまう桃子。そうでなくても……さつきまでトロトロに蕩けかけていたのだ。執拗に耳の穴を舐める吾郎。いつしか右手が……桃子のスポンの中に伸びていた。

「や……止めなさい吾郎……んッ……人が……来ちゃう……」

「何言つてんだよかーさん……さつきはあんなにおねだりしてたのにさ……」

「そ……それは……んッ……や……ホント……ダメえ……」

思ったとおり桃子の股間は愛液でビショビショだった。まるでヌカルミを指で弄っている感触だ。

グチュ……グチュプッ……グチュポッ……

「はあっ……はあっ……ふああうわああ……吾郎……かーさんの……おっぱい揉んでえ……」

「かーさんはおっぱいよりも……こっちが好きなんだろ？」
キユウウツ！乳首を強めにつねりあげる吾郎。

「は……ふひゃああっんツツ！」

汗の滴が宙を舞い、キラキラと光り落ちる。そして吾郎は空いている右手を桃子の口の中に入れ……舌を摘み上げた。

「……ろお……ひえんなことひないでえ……」

それらの回らない声で後ろを向こうとする桃子。しかし吾郎の右手で押さえつけられ自由にならない。

ディープスロートも……口内射精も何回もしてきた桃子の口の中だったが、舌を摘むというのは新鮮な感覚だった。ネチネチと母の舌をねぶる。桃子は思った以上に辛そうだったが……この慣れない感覚をもすでに……新しい快感に変えているようだった。

桃子の柔らかい肉ヒダに擦られて……吾郎のペニスも2回目の噴火が迫っていた。

「……吾郎っ……かーさん……いっちゃうう……」

「ん……オレも……かーさんの中に……出るっ……」

ためらわず母親の体内に吐き出す吾郎。その瞬間桃子の身体がビグンツと反り返り、クタクタとペンチに崩れ落ちる。

「かーさん……オレのチンポ……気持ちよかった……」

後ろから桃子の乳房と乳首を弄びながら、吾郎は母に問いかけた。

「はあっ……はあ……んっ……」

その問いには答えず、吾郎に口付けをする桃子。互いの舌を吸い合いながら、桃子は甘い息を弾ませる。

火照った身体の律動にあわせ、桃子の柔肉もキユキユツと吾郎のペニスを締めつけた。まるで最後の一滴まで搾り取ろうとしているようだ。

吾郎は母と舌を絡めながら、大量の精液を子宮の奥にしたたかに放った。

上気した肌がゆるやかに上下する。吾郎は母の白い尻に吸い付きながら、三度目の射精に備えペニスが硬くなつていくのを感じていた……

結局その後吾郎は、桃子の口に1回、膣内に2回射精した。屋外でのセックスというのが……いつも以上に興奮と快楽を呼んだようだ。集中して母を犯すなら部屋の中だが、たまには外というのも面白いかもしれない。

学校……近所の公園……それとも桃子の働く幼稚園……様々な場所で母を抱く事を考えただけで、吾郎は身体の芯が熱く滾つてくる。桃子は最初は抵抗するだろうが……すぐに悦楽の波に飲み込まれるだろう。

それに『見られているかもしれない』というシチュエーションは……密室での2人きりのセックスよりも、桃子を激しく狂わせる様だ。

「オーツス本田！」

その時チームメイトの沢村が吾郎に声をかけてきた。通学中の路上である。吾郎は淫らな回想から現実に戻った。

「聞いてくれよ本田あ！オレ昨日さあ、スッゲーもん見ちまっただよ！」

突然小声で話し掛ける沢村。

「昨日の夜……ロードワークの途中でさあ……カップルがセックスしてるの見たんだよ！しかもどこでだと思っ？……ドルフィンズのグラウンドだぜ？」

驚愕する吾郎。しかし沢村は吾郎の変化に気付かず話し続ける。



「顔は見えなかったんだけど…男がなんか子供みたいなチビでさあ…。くっそー！オレ達も早くセックスとかしてみてーよなあ本田！」

苦笑し、顔を背ける吾郎。そうか…昨日の足音は沢村だったのか…。しかしここで…その男はオレだと教えたら沢村はどんな顔をするだろう。そして…その相手が自分の母親だと言ったら…？

その時吾郎の脳裏に、昨夜の桃子の嬌態が浮かんだ。と同時に…ある素晴らしい考えも…。

他人に見られることで激しく乱れる母の火照った身体…。ましてそれが…息子のチームメイトだったとしたら…。

とりあえずは沢村と…小森も呼んでみようか。慣れてきたら清水も呼んで…二人一緒に抱くのも悪くない。母親の身体を独占出来なくなるのは惜しい気もするが…それ以上に沢村や小森に犯される桃子の姿というのも…ひどく魅力的に思えた。

「…何だよ本田！オレの話聞いてないのかよ！…あ、分かった！正直オレがうらやましーんだらう？」

「ん…ああ…ワリい沢村」

「まあその気持ちも分かるけどさあ！多分ナマセックスなんて見ちゃったヤツはクラスにも…っ！か学校にもまだいねーと思っぜ？」

楽しそうに口角を飛ばす沢村。しかし吾郎は全く聞いておらず、いかにこの素晴らしいプランを実現するかという考えに再び没頭していった…。

☆ 作品解説 ☆

そんな訳で物凄なお久しぶりです里見です。ガチで念願の『MAJOR』本だったのですが…ガチ過ぎて時間かけ過ぎてしまいました…。2年ぶりのマンガ作業だったので、描き方もかも忘れてしまったというのもあるのですが(笑)

しかし結局小学生編しか描けなかったし…桃子先生のマンガも描けなかったし…やり残し多過ぎ！もう一回本出すか？(そんなお金はありませぬ…)

しかし今回…最大の敵はパソコンちゃんでした…。2ヶ月ほど作業をした辺りでいきなりハードディスクがクラッシュ！空鶴が何とかサルベージしてくれたので…データはギリギリ助かったのですが…いやマジで本出すの止めようかと思ったね！それに懲りて次の日即新しいハードディスク2台買ってきて…ちゃんとバックアップは取るようにしました。(つか、今まで取ってなかったんかい！)

その時ついでに新しいタブレットも買ったのですが…つなげてからどうにもフォトの調子がオカシイ…なんかプリプリフリーズする…。昔はこんな子じゃなかったのに…。

この辺詳しい人教えて下さい。
やっぱメモリーが足りないのか～
!?

吾郎に命じられた通り
沢村達を半裸で接客する
桃子先生。

『神万子ヨコ』の「コノハ」希望！

里見ひろゆき

告

言いたいことを読むときは
本編を読み終え
親か読んで読みましょう。



里見さん…

アニメのキャラを使って
いやらしいマンガを描く。
このダメな男の人と
出会うって

神万千こ

やん、
ぼすちもう
出てんじょん

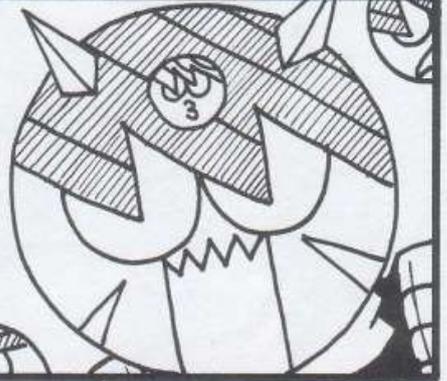


世界
水泳
やん、

ぼく空鶴の中で

何かが変わってきました

今欲しいんだよね
空鶴ひつしの
言いたい放題
と7人の戦鬼



そんな訳で…
2年振りの
言いたい放題です…



早エーよ2年!!
何にもしなくても
勝手に歳は取って
ゆくんだね!!
ハッ! 明日夢って
絵にしづめ!!

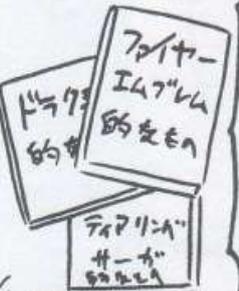
しかしこの2年間…
RIROLAND的は
色々ありましたよ

ランス
さま

大番長…
ランスも…
D&D…

って
DUCHOT
何かかー!!

ホント…
あれもこれもと
ゲームからフィギュア
が出まくりで、



買ひきり
な〜!!

って。
物欲の話
はっかー!!

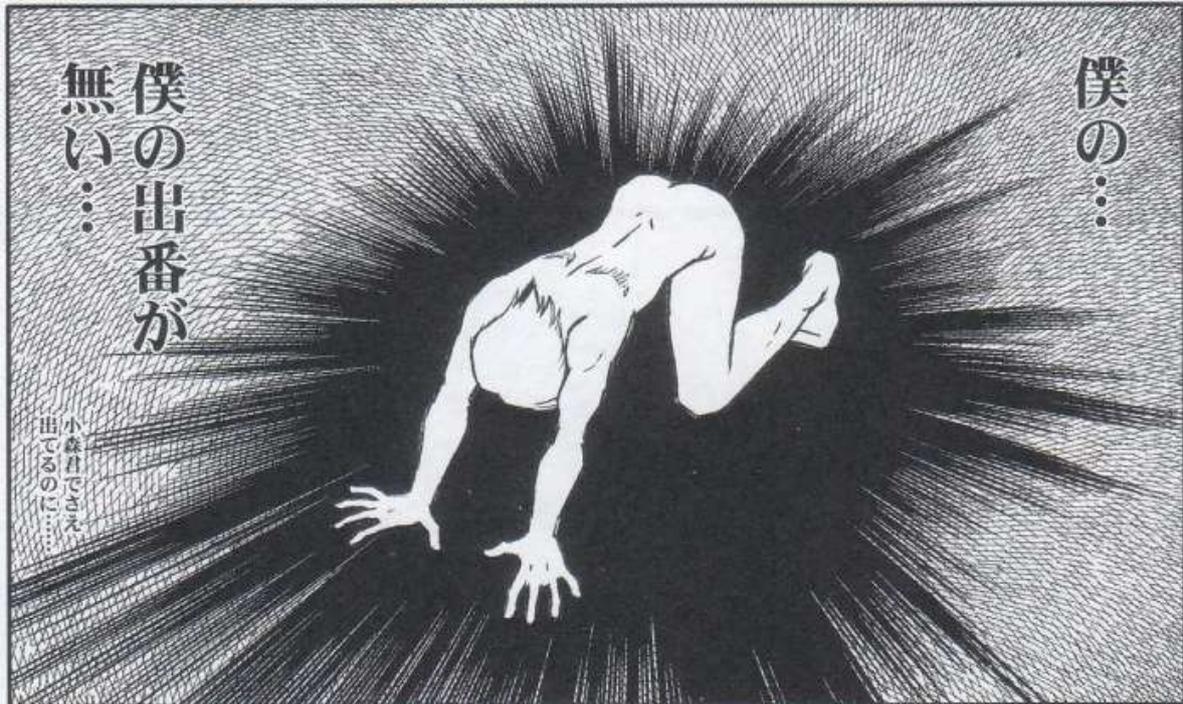


そのき やるき きあこ じゆうかん
みじゆく はなじゆく あじよく また
そのき やるき きあこ じゆうかん
みじゆく はなじゆく のひのひまかり
ちしき けいけん ないけれど
キヤラと ハートが おおまか カパト
とにかく いっぱい そろじと にはあ
さんほ すんで だだっど だんじゅ
ついて ないひが あったとして
カリリ コンバイトで きぶん リセツ



RIROLAND
HEAVY GAUGE 07

MOJER
マジャー



↑この本に自分の出番が全く無いことを知り
ショックで崩れ落ちる佐藤寿也選手。

ゴメン

奥付

発行日 2005年8月14日

発行者 RIROLAND

発行協力 空鶴寺

印刷所 しまや出版さま

連絡先 rl-max@din.or.jp

HPアドレス <http://www.din.or.jp/~riroland/>

RIROLAND

COMICMARKET 2005 SUMMER

HEAVYGAUGE07

FOR ADULT ONLY!

DRAMATIC ADULT COMIC

MOJER
マザー

RIROLAND PRESENTS



吾郎と清水のセックスを偶然見てしまった桃子。
茂野に抱かれながらもその光景が頭から離れない。
そして遂に禁忌の一線を… !?